山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

令和４年５月２日（月）　　第７号

校　長　　池部　聖吾智（みわとも）

読者がおられるからこそ通信が発行できます！

先日、ある本校保護者の方から「毎回、通信楽しみに読んでいます。娘もおもしろい校長先生と言っています」というありがたいお言葉をいただきました。「読んでくださる方がいるから発行できます」と私も感謝の言葉を述べました。児童数・職員数が少なく、なかなか行き届かない部分もありますが、何とか情報発信しようと潤徳小学校ホームページ（HP）も、週に１度は更新できるよう努力しています。本通信に併せまして潤徳小HPにもご注目ください！ただ、現在yahooやgoogle等の検索でヒットする状況にありません。皆様のアクセス数により、ヒットする日数までの時間が短縮できるかもしれません。潤徳小HP https://es.higo.ed.jp/juntoku/　　QRコード

「少々困難なことでもやり抜く力」これは、今年度「子どもたちに重点的に育成を目指す資質・能力」の一つとして挙げていることです。

本通信第６号で紹介した「３年教室にあるサイコロどちらが正しい？」の正解をまだ誰も言いに来てくれません(T-T)教室に出向き、３年生に聞くと「わかりませ～ん」との反応・・・。

実は、３年教室に行く途中で朝の放送に向かう６年生のくんが「サイコロの問題ですがサイコロを見ていいですか」と言ってきたので３年教室に案内しました。しばらく２個のサイコロを眺め「わかりません」と言いました。

確かにこの問題は、サイコロに関する専門的知識がある子にとっては常識的な問題であり、小学生には少し難しいかもしれません。でも、「少々困難でも解決してやろう！」という気概がほしいのです。

再度、潤徳小の子全員に挑戦状を出します。「どちらが正しいサイコロだろう？実際に３年教室に見に行き、考えなさい」

潤徳抄

▼一年生は、小学校生活の基礎作りのために特に丁寧な指導が必要であるが、人数の規定により複式学級編制となった。担任渡邊先生はタブレット活用等で工夫し、二学年並行して指導されている▼五・六年生は人数も多く、学習内容も難しくなる。担任の立山先生は、児童の中に進行役を決めて「本時のめあて」の確認をさせる工夫をされている▼こういった中、２人の支援員（山本先生・下田先生）の存在がありがたい。授業の流れを読みながらしっかりと担任の指導のサポートをしていただいている▼唯一の単式学級担任の森先生には、校務分掌を多めに受け持ってもらっているし、教頭先生にも５・６年生の理科を担当してもらっている。支援学級の西口先生や保健室の増田先生、事務室の小田原先生、給食室の村上先生・志賀先生も含め「チーム潤徳小」は総動員で日々奮闘中である。もちろん校長も常に出動待機中である。